



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月7日

上場会社名 株式会社CKサンエツ 上場取引所 東
コード番号 5757 URL <https://www.cksanetu.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 釣谷 宏行
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括部長 (氏名) 松井 大輔 TEL 0766-28-0025
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	35,427	16.7	1,990	△37.7	2,625	836.3	1,850	—
2025年3月期第1四半期	30,345	4.4	3,197	83.6	280	△85.5	130	△88.8

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 2,133百万円 (—%) 2025年3月期第1四半期 102百万円 (△92.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	219.98	—
2025年3月期第1四半期	15.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	98,824	60,917	53.5
2025年3月期	86,975	59,038	60.1

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 52,914百万円 2025年3月期 52,264百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	45.00	—	45.00	90.00
2026年3月期	—				
2026年3月期（予想）		45.00	—	45.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	135,700	8.5	7,300	△28.9	7,500	△10.5	4,500	△13.6	528.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 2社 (社名) 三谷伸銅株式会社、新キタミ株式会社 除外 1社 (社名) -

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更に関する注記)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期1Q	8,867,000株	2025年3月期	8,867,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	544,891株	2025年3月期	351,591株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期1Q	8,411,540株	2025年3月期1Q	8,379,715株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更に関する注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8
(企業結合等関係の注記)	10

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安によるインバウンド需要が旺盛なまま推移し、また、米の価格が高騰するなどして消費者物価が上昇しました。4月には、2025年大阪・関西万博が開幕しました。

このような経営環境の下、当社は、2025年4月1日に、子会社であるサンエツ金属株式会社及び日本伸銅株式会社と同様に伸銅事業を営む三谷伸銅株式会社（京都市）の株式を、三井金属鉱業株式会社から譲受し、連結子会社化しました。

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、三谷伸銅株式会社を連結子会社化したことに伴う伸銅事業の販売量増加等により、売上高は354億27百万円（前年同期比16.7%増加）となり、営業利益は19億90百万円（同37.7%減少）となりました。営業外収益としてデリバティブ利益5億86百万円、デリバティブ評価益1億97百万円を計上し、営業外費用としてデリバティブ評価損4億20百万円を計上したこと等により、経常利益は26億25百万円（同836.3%増加）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は18億50百万円（同1,315.9%増加）となりました。

各セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

伸銅

伸銅事業では、販売量は2万6,478トン（前年同期比17.6%増加）、売上高は309億67百万円（同19.3%増加）となり、セグメント損益は13億20百万円のセグメント利益（同47.7%減少）となりました。

精密部品

精密部品事業では、売上高は15億2百万円（前年同期比6.4%増加）となり、セグメント損益は1億80百万円のセグメント利益（同5.8%増加）となりました。

配管・鍍金

配管・鍍金事業では、売上高は29億56百万円（前年同期比0.7%減少）となり、セグメント損益は3億89百万円のセグメント利益（同5.7%減少）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は737億47百万円となり、前連結会計年度末に比べ107億85百万円増加しました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産が27億41百万円、電子記録債権が53億40百万円、棚卸資産が32億70百万円増加したことによるものであります。固定資産は250億76百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億63百万円増加しました。この結果、資産合計は988億24百万円となり、前連結会計年度末に比べ118億49百万円増加しました。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は346億82百万円となり、前連結会計年度末に比べ96億61百万円増加しました。これは主に、設備関係支払手形が18億7百万円、未払法人税等が9億88百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が14億56百万円、短期借入金が109億70百万円増加したこと等によるものであります。固定負債は32億23百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億8百万円増加しました。この結果、負債合計は379億6百万円となり、前連結会計年度末に比べ99億70百万円増加しました。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は609億17百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億79百万円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益18億50百万円によるものであります。この結果、自己資本比率は53.5%（前連結会計年度末は60.1%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年5月12日「2025年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」において公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,696	2,421
受取手形、売掛金及び契約資産	17,132	19,874
電子記録債権	11,189	16,529
商品及び製品	8,713	8,758
仕掛品	10,514	12,902
原材料及び貯蔵品	9,753	10,591
その他	2,031	2,748
貸倒引当金	△69	△77
流動資産合計	62,961	73,747
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	17,329	18,697
減価償却累計額	△7,630	△8,905
建物及び構築物（純額）	9,698	9,791
機械装置及び運搬具	28,371	33,635
減価償却累計額	△25,078	△29,925
機械装置及び運搬具（純額）	3,292	3,709
土地	7,344	7,530
建設仮勘定	228	124
その他	2,992	3,560
減価償却累計額	△2,517	△3,048
その他（純額）	474	511
有形固定資産合計	21,038	21,668
無形固定資産		
ソフトウェア	148	121
その他	29	30
無形固定資産合計	178	151
投資その他の資産		
投資有価証券	1,759	2,166
退職給付に係る資産	3	3
繰延税金資産	934	982
その他	99	105
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	2,796	3,256
固定資産合計	24,013	25,076
資産合計	86,975	98,824

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,250	10,706
電子記録債務	—	170
短期借入金	8,400	19,370
未払金	351	207
未払費用	934	881
未払法人税等	1,886	897
賞与引当金	1,309	613
債務保証損失引当金	47	47
設備関係支払手形	2,073	265
その他	767	1,523
流動負債合計	25,021	34,682
固定負債		
繰延税金負債	370	407
再評価に係る繰延税金負債	289	289
退職給付に係る負債	1,660	1,889
長期借入金	102	102
その他	492	534
固定負債合計	2,915	3,223
負債合計	27,936	37,906
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,756	2,756
資本剰余金	4,729	4,784
利益剰余金	44,517	45,971
自己株式	△663	△1,397
株主資本合計	51,339	52,116
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	232	158
土地再評価差額金	556	556
為替換算調整勘定	70	34
退職給付に係る調整累計額	64	48
その他の包括利益累計額合計	925	798
非支配株主持分	6,773	8,003
純資産合計	59,038	60,917
負債純資産合計	86,975	98,824

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	30,345	35,427
売上原価	25,906	31,882
売上総利益	4,438	3,544
販売費及び一般管理費		
荷造及び発送費	274	326
給料及び手当	331	456
退職給付費用	0	5
貸倒引当金繰入額	6	4
その他	629	761
販売費及び一般管理費合計	1,241	1,553
営業利益	3,197	1,990
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	29	189
為替差益	4	—
デリバティブ利益	0	586
デリバティブ評価益	48	197
業務受託料	12	12
出向者負担金受入額	16	18
雇用調整助成金	1	—
その他	89	96
営業外収益合計	204	1,103
営業外費用		
支払利息	5	26
為替差損	—	13
デリバティブ損失	1,306	0
デリバティブ評価損	1,805	420
その他	3	7
営業外費用合計	3,121	468
経常利益	280	2,625
特別利益		
補助金収入	3	4
投資有価証券売却益	—	34
段階取得に係る差益	—	38
負ののれん発生益	—	192
特別利益合計	3	269
特別損失		
固定資産除却損	4	4
特別損失合計	4	4
税金等調整前四半期純利益	279	2,890
法人税等	130	838
四半期純利益	148	2,052
非支配株主に帰属する四半期純利益	18	201
親会社株主に帰属する四半期純利益	130	1,850

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	148	2,052
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△29	133
為替換算調整勘定	19	△36
退職給付に係る調整額	△35	△16
その他の包括利益合計	△46	81
四半期包括利益	102	2,133
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	75	1,881
非支配株主に係る四半期包括利益	26	252

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更に関する注記)

当第1四半期連結会計期間において、三谷伸銅株式会社を株式の取得により子会社化したため、三谷伸銅株式会社及びその子会社である新キタミ株式会社を連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	425百万円	567百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ 前第1四半期連結累計期間（自2024年4月1日至2024年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	伸銅	精密部品	配管・鍍金	合計
売上高				
顧客との契約から生じる収益	25,956	1,412	2,976	30,345
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	25,956	1,412	2,976	30,345
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,593	20	2	1,615
計	27,550	1,432	2,979	31,961
セグメント利益	2,526	170	412	3,109

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,109
セグメント間取引消去	223
全社費用	△136
四半期連結損益計算書の営業利益	3,197

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自2025年4月1日至2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	伸銅	精密部品	配管・鍍金	合計
売上高				
顧客との契約から生じる収益	30,967	1,502	2,956	35,427
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	30,967	1,502	2,956	35,427
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,732	17	2	1,751
計	32,700	1,519	2,958	37,179
セグメント利益	1,320	180	389	1,890

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	1,890
セグメント間取引消去	213
全社費用	△113
四半期連結損益計算書の営業利益	1,990

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
（重要な負ののれん発生益）

「伸銅」セグメントにおいて、三谷伸銅株式会社の株式を取得し子会社化したことに伴い、負ののれんが発生しております。なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては192百万円で、特別利益に計上しております。

(企業結合等関係の注記)

(取得による企業結合)

当社は、2025年1月21日開催の取締役会において、三谷伸銅株式会社（以下、「三谷伸銅」といいます。）の株式を三井金属鉱業株式会社より取得し（以下、「本株式取得」といいます。）、子会社化することについて決議し、同日付での株式譲渡契約締結を経て、2025年4月1日付で三谷伸銅の株式を取得いたしました。

なお、三谷伸銅の資本金が当社の資本金の100分の10以上に相当することから、三谷伸銅は当社の特定子会社に該当します。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 三谷伸銅株式会社

事業の内容 伸銅品の製造及び販売

(2) 企業結合を行った主な理由

当社グループの主力事業領域の一つである伸銅事業は、国内市場が成熟し、今後とも需要が漸減するものと推測されます。このような経営環境の下、当社グループは、新製品の開発による市場開拓や、M&Aによる事業拡張に注力することで、中長期的な成長を模索してまいりました。

三谷伸銅は、国内有数の歴史を持つ老舗伸銅品メーカーで、安定した多品種少量生産体制により、特定市場においてオンリーワンを確立し、官需先とも良好な関係を築いております。

また、当社連結子会社である日本伸銅株式会社は、三谷伸銅とOEM生産等の取引があり、加えて、三谷伸銅の株式を政策保有するなど、良好な関係を構築してきました。

本株式取得により、双方が培ってきた生産技術・ノウハウを相互活用することで生産性を向上させ、小ロットの生産品種は、製品の双方向のOEM生産等により生産拠点を集約することで量産効果を発揮するだけでなく、設備投資の重複を避けることで減価償却費の負担を軽減することが可能となります。また、原料及び副資材の共同購買を行うことによる原価低減が期待できます。さらには、複数の生産拠点を持つことにより、設備トラブルや欠員等による生産障害発生時におけるBCP機能が強化されることで、地域や社会に対する責任を果たすと共に、お客様の求める質の高い製品・サービスを提供し続けることが可能となります。これらのことは、当社グループの企業価値向上に寄与するものと判断し、本株式取得を決定するに至りました。

(3) 企業結合日

2025年4月1日

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

(5) 結合後企業の名称

変更はありません。

(6) 取得した議決権比率

取得直前に所有していた議決権比率 4.05%（うち間接所有分4.05%）

企業結合日に追加取得した議決権比率 71.53%

取得後の議決権比率 75.58%（うち間接所有分4.05%）

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したことによるものです。

2. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

2025年4月1日から2025年6月30日まで

3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	企業結合日前に保有していた株式の企業結合日における時価	146百万円
追加取得の対価	現金	2,587百万円
取得原価		2,733百万円

4. 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等 12百万円

5. 被取得企業の取得原価と取得するに至った取引ごとの取得原価の合計額との差額

段階取得に係る差益 38百万円

6. 発生した負ののれん発生益の金額及び発生原因

(1) 発生した負ののれん発生益の金額

192百万円

(2) 発生原因

企業結合時の時価純資産額が取得原価を上回ったため、その差額を負ののれん発生益として計上しております。

7. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産	7,401百万円
固定資産	1,537百万円
資産合計	8,938百万円
流動負債	4,305百万円
固定負債	417百万円
負債合計	4,722百万円